

2026年5月28日
J X金属株式会社
三菱マテリアル株式会社
三井金属株式会社
丸紅株式会社

銅精鉱の購入・電気銅等の販売に係る事業の統合に関する最終契約書の締結について

J X金属株式会社（代表取締役社長：林 陽一、以下「J X金属」）、三井金属株式会社（代表取締役社長：池信 省爾、以下「三井金属」）および丸紅株式会社（代表取締役社長：大本 晶之、以下「丸紅」）と三菱マテリアル株式会社（執行役社長：田中 徹也、以下「三菱マテリアル」、J X金属、三井金属および丸紅と総称して以下「当社ら」）の4社は、三菱マテリアルが営む、銅精鉱の購入および銅精鉱由来の電気銅・硫酸・その他銅製錬副産物の販売を行う事業（以下「対象事業」）を、J X金属・三井金属・丸紅が出資するパンパシフィック・カッパー株式会社（以下「PPC」）に統合すること（以下「本統合」）について協議を進めてまいりましたが、本日付けで、当社らの中で本統合に関する最終契約書（以下「本最終契約書」）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

銅製錬事業を取り巻く外部環境は、海外製錬会社との競争が激化したことを受け、鉱山会社から銅精鉱を購入する際の条件（TC/RC（※1））が大幅に悪化し、今後の見通しも不透明な状況にあります。一方で、国内の銅製錬所は、電気銅の生産に加え、レアメタルや貴金属を回収する重要な役割を担っています。これらの金属資源はAIデータセンターをはじめとした先端技術・製品に欠かせないものであり、銅製錬所の存続は、経済安全保障の観点からも極めて重要です。

こうした中、当社らは、国際競争力の強化や収益性の維持・向上を実現する新たな体制構築を目的として、2025年11月に発表した通り（※2）、本統合についての具体的な協議・検討を行ってまいりました。その結果、三菱マテリアルの対象事業を、会社分割の方法により、PPCに移したうえで、PPCが新たに設立するPPCの子会社（以下「新会社」）に承継させることにより本統合を実施することといたしました（※3）。本統合後の当社らのPPCへの出資比率は、J X金属 32.50%、三菱マテリアル 32.00%、三井金属 21.90%、丸紅 13.60%（※4）となり、本統合によりPPCは当社らそれぞれの持分法適用関連会社となります。また、新会社はPPCの完全子会社となります（以下PPCと新会社を総称して「PPCグループ」）。

なお、現在PPCでは、J X金属製錬株式会社および日比製錬株式会社の製錬所に対して製錬委託を行っておりますが、本統合後は、PPCグループの製錬委託先に三菱マテリアル

の製錬所も加わる体制となります。

本統合により PPC グループとして銅精鉱調達量が増加することにより、スケールメリットを活かして購買力を強化することができ、さらに共通機能を集約し、最適な供給体制を構築することで、生産・販売オペレーションの効率化を推進します。これによりコスト削減を図り、更なる収益性の向上を実現します。加えて、各社が有する強みやノウハウを融合することで、販売ポートフォリオの高度化等、本統合によるシナジーを追及し、銅製錬事業の競争力強化に取り組みます。本統合は、銅製錬事業が直面している厳しい事業環境を踏まえ、持続的な事業運営に向けた競争力の強化と抜本的な見直しを目指すものです。

本統合は、2026年10月1日の実施を予定しておりますが、本統合を行うに当たり必要な公正取引委員会等の国内外の関係当局への届出や許認可の取得等が完了すること等を条件としております。

- (※1) TC/RC：銅精鉱の取引で使われる「溶錬費 (TC：Treatment Charge)」と「精錬費 (RC：Refining Charge)」のこと。
- (※2) [銅精鉱の購入・電気銅等の販売に係る事業の統合に関する基本合意書の締結について | 2025年度 | JX金属](#)
- (※3) 具体的には、(i)PPC が新会社を設立したうえで、(ii)三菱マテリアルを吸収分割会社、PPC を吸収分割承継会社とする対象事業の吸収分割（以下「本第一吸収分割」）を行い、(iii)本第一吸収分割と同日付で、本第一吸収分割の効力発生を停止条件として、PPC を吸収分割会社、新会社を吸収分割承継会社とする対象事業の吸収分割を行うことにより本統合を実施します。
- (※4) 小数第3位を四捨五入して記載しております。

新会社概要（設立直後の予定）

商号	PPC マテリアル株式会社
本社	東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
資本金	1円
事業内容	銅精鉱の購入 電気銅、硫酸、貴金属、その他銅製錬副産物の製造委託及び販売
大株主及び持株比率	PPC 100%

以上

<参考>

1. J X金属概要

本社	東京都港区虎ノ門二丁目10番4号
代表者	代表取締役社長 林 陽一
資本金	75,000 百万円
事業内容	薄膜材料事業、タンタル・ニオブ事業、機能材料事業、金属・リサイクル事業、資源事業
総資産	1,505,337 百万円 (連結)
従業員数	10,450 名 (連結)

2. 三菱マテリアル概要

本社	東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
代表者	執行役社長 田中 徹也
資本金	119,457 百万円
事業内容	銅・金・銀・鉛・錫・パラジウム等の製錬・販売、環境リサイクル関連、銅加工品・電子材料等の製造・販売、超硬製品等の製造・販売、再生可能エネルギー関連の事業等
総資産	2,999,744 百万円 (連結)
従業員数	17,591 名 (連結)

3. 三井金属概要

本社	東京都品川区大崎一丁目11番1号
代表者	代表取締役社長 池信 省爾
資本金	42,377 百万円
事業内容	機能材料・電子材料の製造・販売、非鉄金属製錬、資源開発、貴金属リサイクル 等
総資産	697,481 百万円 (連結)
従業員数	8,188 名 (連結)

4. 丸紅概要

本社	東京都千代田区大手町一丁目4番2号
代表者	代表取締役社長 大本 晶之
資本金	263,711 百万円
事業内容	国内外のネットワークを通じて、輸出入(外国間取引を含む)及び国内取引のほか、各種サービス業務、内外事業投資や資源開発等の事業活動を多角的に展開

総資産 10,531,764 百万円（連結）
従業員数 4,225 名（丸紅グループの従業員数 52,658 名）

5. PPC 概要

本社 東京都港区虎ノ門二丁目 10 番 4 号 オークラプレステージタワー
代表者 代表取締役社長 村尾 洋介
資本金 50 億円
事業内容 銅精鉱の購入
電気銅、硫酸、貴金属、その他銅製錬副産物の製造委託及び販売
大株主及び J X 金属株式会社 47.8%、三井金属株式会社 32.2%、丸紅株式会社
持株比率 20.0%
従業員数 71 名

（資本金・総資産・従業員数については、2026 年 3 月末現在の数値を記載。）